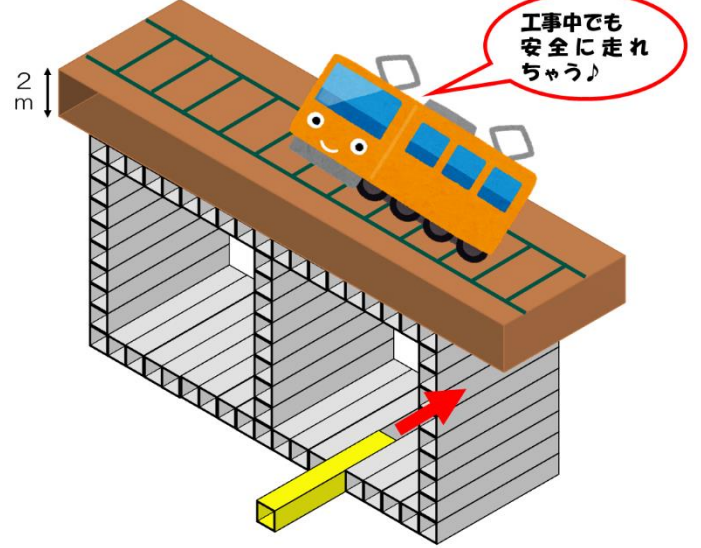
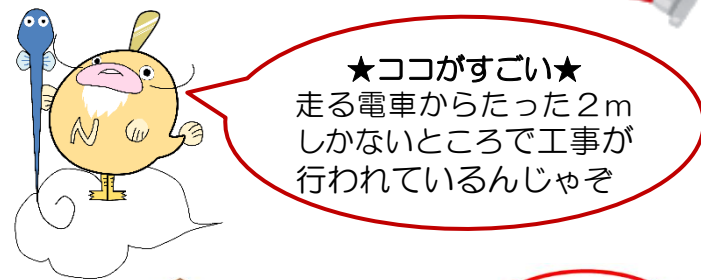


TOPICS：JR交差部工事「^{ヘップ ジェス}HEP&JES工法」

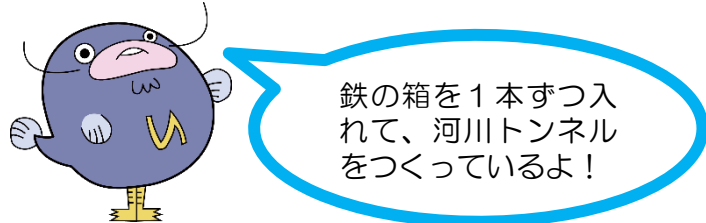
JR交差部の工事は、昼夜を問わない施工により、近隣にお住まいの方々には大変ご迷惑をお掛けしております。

本年1月から、『^{ヘップ ジェス}HEP&JES工法』という特殊な工法により線路下の工事を進めています。

電車を止めることなく、常に線路の変化をミリ単位で監視しながら、安全かつ確実な施工を行っております。



HEP&JES工法イメージ図



HEP&JES工法の施工風景

なますくん通信 11

沼津土木事務所
沼川新放水路整備課
R5.06.01発行



令和5年3月15日 撮影

沼川新放水路整備課職員の紹介



左から 小塩技師、望月班長、露木課長、里吉技師、石野主任、山崎主査、望月主査

令和5年度の沼川新放水路整備課は、人事異動により望月班長と山崎主査が加わりました。工事が計画どおりに進むよう工事発注や現場の調整など、一所懸命取り組んでおります。

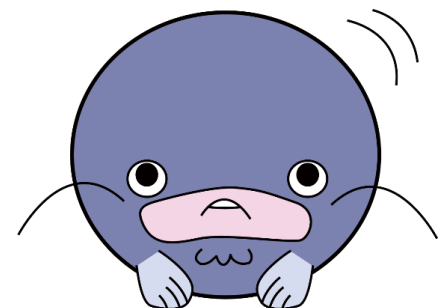
今後も皆様と連携して工事を進めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

なますくん通信とは

この広報紙「なますくん通信」では、沼川新放水路整備事業を中心に、沼川流域における治水対策事業について分かりやすく説明していくとともに、これからの川づくりの最新情報をお知らせしていきます。

目次

- ✓ 見学自由！現場事務所の屋上を開放
- ✓ スマホで現場見学「360度カメラ」
- ✓ 優良建設工事 部長表彰を受賞しました
- ✓ 高橋川 川に溜まった土砂をまとめて撤去！！
- ✓ TOPICS:JR交差部工事「HEP&JES工法」
- ✓ 沼川新放水路整備課職員の紹介



沼津土木事務所 沼川新放水路整備課
Tel: 055-920-2129



見学自由！現場事務所の屋上を開放

地域の皆様に沼川新放水路工事の進捗状況をいつでもご覧いただけるように、現場事務所の屋上を開放します。

見学場所は、JR原踏切から南に70m付近（徒歩2分）の現場事務所です。屋上の見学場所には新放水路事業のパネル紹介コーナーもあります。

6月中旬に、見学場所入口に右の看板を設置しますので目印にしてください。皆様のご来場をお待ちしております。



見学場所の現場事務所



事務所屋上からの風景



案内看板（この看板が目印）

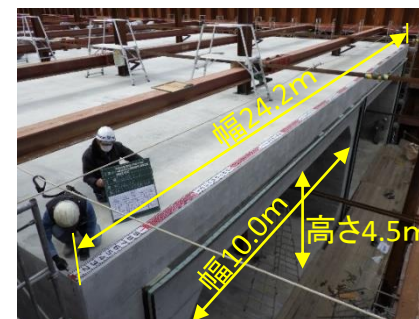
優良建設工事 部長表彰を受賞しました

令和3年度に施工した（株）山田組の工事が、静岡県交通基盤部長から優れた施工であったと評価され、優良工事表彰を受賞しました。

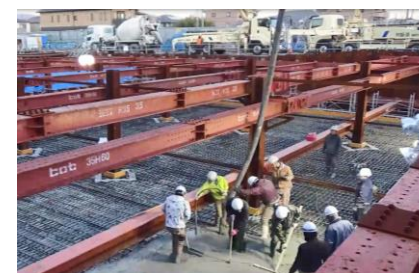
本工事は、地下約13m、障害物が多くある狭い現場にもかかわらず、工程どおりに無事故で完成させました。特に、ミキサー車193台分のコンクリート工事は早朝から夜遅くまでの作業になりましたが、打継目を少なくした高品質な構造物を整備したとして、これも高い評価を受けました。

品質向上の各種施策や安全な施工に取り組んだ企業努力はもちろんですが、今回の受賞には、本事業に多大なご協力いただいている地域皆様のお陰でありますことを、改めて県及び施工会社ともども感謝申し上げます。

＜（株）山田組の現場担当者から一言＞
コンクリートは永久的なものではなく寿命があります。より長い期間、安全・安心な施設として機能するように、現場では品質の確保・向上を目標に施工しています。



完成した河川トンネル



コンクリート工事の様子

スマホで現場見学「360度カメラ」



底版部施工状況（360度カメラで撮影）

昨年度より、沼川の新放水路整備状況を皆様に分かりやすくお伝えするため、「360度カメラ」で撮影した写真を公開しております。

360度カメラの写真は、その名のとおり360度ぐるりと工事現場を見渡すことができ、まさにその場にいるような感覚になります。

皆様のスマホやPCでいつでも・どこでも・どなたでも工事現場を見学することができます。

是非下記のQRコードから360度カメラで撮影した工事現場をご覧ください。



360度画像用のチラシ（次回の配布はもうすぐ！）



上流工区（盛土工）



下流工区（函体工）



海岸部（函体工）



◀こちらのQRコードは、地下河川のコンクリート施工状況をパラパラ動画でご覧いただけます！

高橋川 川に溜まった土砂をまとめて撤去！！



完成2か月後の土砂堆積状況

高橋川では、毎年下流部において堆積した土砂の撤去を行っております。今回、堆積土砂の抑制のため上流部（柳沢地区）に土砂を溜める施設をつくりました。

この施設は、河床を掘り下げた「土砂溜まりポケット」であり、上流から流出した土砂を溜め、この場所でまとめて土砂を撤去します。また、今までは撤去工事のたびに重機やダンプが川の中に入るための仮設の進入路をつくっていましたが、今回常設の進入路もつくりました。

今後は、この施設に溜まった土砂の撤去を定期的に行い、下流部に流出する土砂量を軽減させ、効率的な河川の維持管理を行ってまいります。

